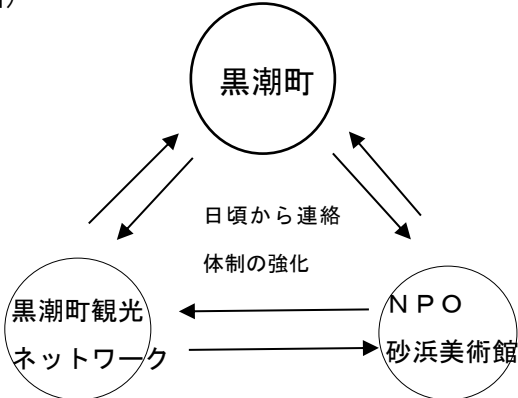


## 日本版DMO形成・確立計画

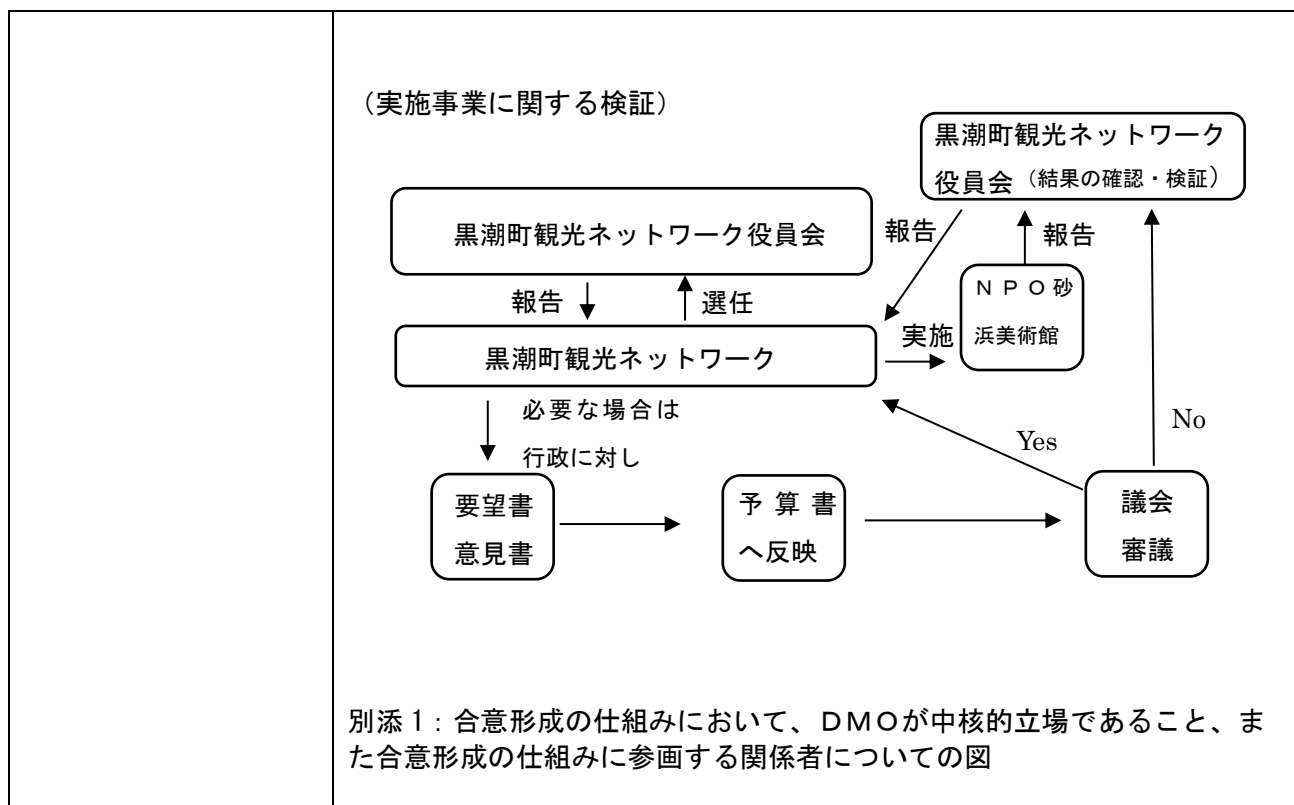
## 1. 日本版DMOの組織

|   |  |  |
|---|--|--|
| 申請区分  | 地域DMO  |  |
| 日本版DMO候補法人の名称                                   | 特定非営利活動法人NPO砂浜美術館  |  |
| マーケティング・マネジメント対象とする区域                           | 高知県幡多郡黒潮町  |  |
| 所在地   | 高知県黒潮町   |  |
| 設立時期  | 平成 15 年 9 月 4 日  |  |
| 職員数   | 18 人   |  |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）<br>※必ず記入すること | （氏名）<br>村上 健太郎（専従）<br>（出身組織名）<br>NPO砂浜美術館  | 平成 23 年よりNPO砂浜美術館の理事長として、地域の観光振興の取組を行っている。また、旅行業取扱免許の取得者である。                                 |
| 各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材）<br>※必ず記入すること    | （氏名）<br>的場 尚雅（専従）<br>（出身組織名）<br>NPO砂浜美術館   | 海外を含めた観光ガイドの経験や、データ分析に関する実績がある。また英語も堪能であるため、幅広く来訪者のデータ収集・分析が可能である。                           |
| スポーツツリズム責任者（専門人材）                               | （氏名）<br>山崎 悠（専従）<br>（出身組織名）<br>NPO砂浜美術館  | 黒潮町の観光振興の柱であるスポーツツリズム推進の中心スタッフとして、宿泊実績を伸ばすなど、プロモーションに高い能力をもつ。                                |
| 体験プログラム責任者（専門人材）                                | （氏名）<br>大迫 綾美（専従）<br>（出身組織名）<br>NPO砂浜美術館   | 海洋生物について専門的な知識をもち、ホエールウォッチングをはじめとした海プログラムのガイド経験や、旅行エージェントとのつながりを活かし、地域の体験プログラムの実施・開発を担当している。 |
| 連携する地方公共団体の担当部署名及び役割                            | ◆高知県幡多郡黒潮町<br>産業推進室<br>・観光振興に関わる基盤整備、政策立案<br>企画調整室<br>・行政内部の横断的推進体制の整備<br>・地方創生に関する窓口  |  |
| 連携する事業者名及び役割                                    | ◆黒潮町観光ネットワーク<br>・観光戦略の策定、提言 ・事業推進に向けた経営資源向上<br>・事業に携わる人材確保、育成<br>◆一般社団法人幡多広域観光協議会<br>・広域エリア（高知県西部）の観光産業の推進<br>◆高知県観光コンベンション協会<br>・県単位での観光産業の推進 |  |
| 官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み               | （該当する要件）<br>③に該当 「黒潮町観光ネットワーク」<br>（概要）現在約 40 団体が会員として参加。宿泊、体験、地域住民団体、公共交通、金融機関等、多様な関係者で構成されている。本ネットワークで  |  |

(別添) 様式 1

|  |   |
|--|---|
|  | <p>は年間数回の役員会と、2 回程度の全体会（総会含む）があり、行政、教育機関（大学）も参画してもらい連携の仕組みを整えている。</p>   |
| <p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p> | <p>観光関連の専門家招致による勉強会の開催（平成 29 年度・5 回開催）。黒潮町観光ネットワーク会員を中心に参加。地区単位の住民組織である、集落活動センターのメンバーも、勉強会のテーマに応じて参加している。</p> <p>①ニタリクジラの勉強会<br/>（講師：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 木白俊哉 氏）</p> <p>②若山楮勉強会<br/>（講師：世界紙文化遺産支援財団「紙守」参事 北見音丸氏）</p> <p>③外国人をターゲットとした体験メニュー企画造成の勉強会<br/>（講師：広島通訳ガイド 松田依子 氏・溝下佳子 氏）</p> <p>④地域資源の磨き上げの勉強会<br/>（講師：株プラットイーズ取締役会長・隅田徹 氏）</p> <p>⑤観光地域経営の勉強会<br/>（講師：DMO 推進機構代表理事・大社充 氏）</p>   |
| <p>法人のこれまでの活動実績</p>                    | <p>（活動の概要）</p> <p>平成 15 年 9 月に NPO 法人化し、地域の観光分野を活動範囲に持つ 4 団体（砂浜美術館運営委員会・大方町公園管理協会・大方町観光協会・大方遊魚船主会）が 1 つになる。観光窓口をワンストップ化するとともに、平成 24 年に旅行業登録し、自主財源確保を目指す。また、指定管理者として高知県土佐西南大規模公園の管理運営を担当し、管理エリアに含まれるスポーツ施設を活用したスポーツツーリズムを、平成 24 年度から本格化させている。</p> <p>（定量的な評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆スポーツ合宿受入れによる宿泊数<br/>H23 年度 357 人 → H27 年度 5,119 人 → 平成 29 年度 11,821 人</li> <li>◆イベントの来場者数<br/>・ T シャツアート展<br/>H22 年度 11,000 人 → H27 年度 29,000 人 → 平成 29 年度 31,518 人</li> </ul> |
| <p>実施体制</p>                            | <p>（実施体制の概要）</p> <p>母体となる NPO 砂浜美術館が、一次産業団体、商工会、交通機関、大学機関など多様な関係者が参画する黒潮町観光ネットワーク（2018 年 6 月現在で会員数 40 団体）の事務局機能をもち、密接に連携した運営を実施する。</p> <p>（実施体制図）</p>  <pre> graph TD     A((黒潮町)) &lt;--&gt; B((黒潮町観光ネットワーク))     A &lt;--&gt; C((NPO 砂浜美術館))     B &lt;--&gt; C     </pre> <p style="text-align: center;">日頃から連絡<br/>体制の強化</p>  |

(別添) 様式 1



## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域



### 【区域設定の考え方】

本申請のエリアは高知県幡多郡黒潮町であるが、事業実施においては、高知県西部の幡多地域の市町村（四万十市、土佐清水市、宿毛市、大月町、三原村）や幡多広域観光協議会との連携が重要である。特に、宿泊に関しては黒潮町内の宿泊施設の収容人数は限られており、隣接する四万十市との連携も重要である。またスポーツ施設も幡多エリアに点在しており、規模の大きな大会では、2会場での実施も可能である。

### 【観光客の実態等】

平成 26 年のデータで、黒潮町年間観光入込客数は 90 万人であるが、そのうち 8 割は地域内の道の駅など通過型の施設利用者である。地域別の入込客数を見ると、大阪・兵庫など関西圏が 6 割を占め、ついで四国エリアが 20%（うち高知 15%・愛媛 4%）、関東圏は東京の 7%を筆頭に、17%。同行人数は全国的に見ても 1 人客の割合は少なく、2～4 人が 75%を占めるなど、小学生をつれた家族連れが多い。1 万人当たりの観光消費額は

4,683 万円で、県民客平均 3,307 円、県外客平均 9,678 円となっている。また、誘発効果倍率は 1.42 であり、高知県の 1.52 より 0.1 ポイント減少している。地域内の資金循環がまだ改善の余地があると考えている。

### 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

#### ◆スポーツ

高知県土佐西南大規模公園は、体育館やサッカー場、球技場等を有し、10 数種目のスポーツを実施することができる。またスポーツ施設には砂浜が隣接し、砂浜を使ったトレーニングの実施も可能。

#### ◆イベント・自然 地域の自然資源を活用したイベントの開催

年間通して、自然資源を活かした下記のイベントを実施している。

- ※Tシャツアート展(5月)・潮風のキルト展(11月)・シーサイドギャラリー(8月)
- はだしマラソン大会(5月)・いごっそうアクアスロン大会(7月)
- 土佐佐賀のもどりガツオ祭(10月)

#### ◆自然体験

カツオのたたきづくり体験・天日塩づくり体験・ホエールウォッチング・防災学習プログラム・ビーチコーミング

(別添) 様式 1

|  |
|--|
| <p><b>【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】</b><br/>                 ホテル・旅館：町内 4 施設 最大 240 名<br/>                 (ネストウエストガーデン土佐・土佐佐賀温泉こぶしのさと・ホテルユートピア・ホテル海坊主)<br/>                 民宿：町内 2 施設 最大 80 名<br/>                 民泊：町内 9 施設 最大 40 名<br/>                 その他：町内 1 施設 最大 60 名 であいの里蜷川 (地域集落が経営)</p> <p><b>【利便性：区域までの交通、域内交通】</b><br/>                 高知県西部の幡多エリアへ訪れるルートは、公共交通、また 2 次交通の整備が充分でないことから、約 70%が車利用である。その中でも自家用車の割合が多い。</p> <p><b>【外国人観光客への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JNT0 認定外国人観光案内所のカテゴリ-1 に登録<br/>                     道の駅なぶら土佐佐賀・道の駅ビオスおおがた</li> <li>・ 黒潮町の観光パンフレットの 5ヶ国語対応 (日本・韓国・英語・簡体語・繁体語)</li> <li>・ 黒潮町の体験パンフレットの 4ヶ国語対応 (日本・英語・簡体語・繁体語)</li> </ul> |
|--|

**3. 各種データ等の継続的な収集・分析**

| 収集するデータ            | 収集の目的                       | 収集方法                      |
|--------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 旅行消費額              | 観光による地域への経済波及効果を測るため。       | 道の駅利用者やイベント会場等の来訪者へのアンケート |
| 延べ宿泊者数 (※1)        | 観光による地域への経済波及効果を測るため。       | 対象事業者からのヒヤリング             |
| 来訪者満足度 (スポーツ)      | リピート率向上のための方策を検討するため        | スポーツ合宿・大会参加チームへのアンケート調査   |
| リピート率 (スポーツ)       | 効果的な営業戦略の確立と、旅行消費額の増大を図る    | スポーツ合宿・大会参加チームの集計         |
| WEBサイトのアクセス状況 (※2) | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。 | Google アナリティクスを活用して実施。    |
| スポーツ合宿大会の宿泊者数      | 観光による地域への経済波及効果を測るため        | 宿泊手配数                     |
| 自然体験参加者数 (※3)      | 観光による地域への経済波及効果を測るため。       | 対象事業者からのヒヤリング             |
| イベント来場者数 (※4)      | 観光による地域への経済波及効果を測るため。       | イベント会場でのカウント              |

- (※1) 黒潮町内の 20 施設 (カーサグラシア・ビックマリーンを除く)
- (※2) 黒潮町観光 Web ページ (<http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/kuronavi>)
- (※3) 天日塩づくり体験・カツオのたたき作り体験・吹きガラス体験・ホエールウォッチング・ビーチコーミング・防災学習プログラム・若山楮紙漉き体験
- (※4) T シャツアート展 (5 月)・シーサイドギャラリー夏 (8 月)・潮風のキルト展 (11 月)

## 4. 戦略

## (1) 地域の強みと弱み

|      | 好影響   | 悪影響   |
|------|---|---|
| 内部環境 | <b>強み (Strengths)</b><br>・充実したスポーツ施設 ・広大な砂浜や松原などの自然環境 ・砂浜美術館という考え方<br>・カツオに代表された食の豊かさ | <b>弱み (Weaknesses)</b><br>・少子高齢化による産業の衰退                                    |
| 外部環境 | <b>機会 (Opportunity)</b><br>・高速道路の延伸   | <b>脅威 (Threat)</b><br>・南海地震の情報によるマイナスイメージ<br>・貸切バス代金の高騰 (燃料代も含む)<br>・消費税の増税 |

## (2) ターゲット

|  |
|--|
| <b>○第1ターゲット層</b><br>スポーツ合宿・大会 (主はサッカー・野球) にくる小学生から大学生 (団体)、アクティブシルバー層 (団体・個人)  |
| <b>○選定の理由</b><br>他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が著しく多く、平成29年7月には人工芝グラウンドが開設され、半径約300mの範囲内で天然芝2面・人工芝2面の利用が可能になった。そして、暖かい気候を強みとして冬場の誘客が可能であり、12~3月の閑散期対策にも有効である。   |
| <b>○取組方針</b><br>サッカーに関しては、地域の宿泊施設のキャパシティーやより多くの人たちに利用してもらう為、グラウンドの過度な利用制限を行わない。よって、アマチュアレベルでの誘客を基本とした取組みを行っているが、現状の環境でも可能なプロチームの受入も検討している。平日利用が見込めるグラウンドゴルフ及びパークゴルフ等のアクティブシルバー層の受入についても検討を行う。                            |
| <b>○ターゲット層</b><br>視察研修・修学旅行  |
| <b>○選定の理由、</b><br>黒潮町にはホエールウォッチングや、かつおのたたき作り体験など自然をいかした体験プログラムがあり、また黒潮町を含む高知県西部地域 (幡多エリア) では、積極的に教育旅行の誘致を行っていることから、優位性がある。また6年前に南海トラフ大地震の際の津波高34mの日本一の想定が公表され、その影響で修学旅行等減少したが、それを逆手にとった、防災学習プログラムの開発などを行い、視察地としての優位性をもつ。 |
| <b>○取組方針</b><br>教育旅行については、地域連携DMO (候補法人) である幡多広域観光協議会が高知県西部の幡多エリア6市町村の教育旅行のプロモーションを行っており、連携して実施する。視察研修については旅行会社の商品として企画提案すること、また砂浜美術館の各種取組を通じてPRすることで集客につなげる。  |
| <b>○ターゲット層</b><br>自然体験を求める子供連れ家族   |
| <b>○選定の理由</b><br>ホエールウォッチングのお客様は、約5割が家族連れである。他にもカツオのたたき作り体験や、海水浴場など、小学生をもつ家族連れが楽しむことができる体験プログラムについて優位性がある。   |
| <b>○取組方針</b><br>体験・宿泊事業者が連携して観光クラスターを形成。宿泊と体験プログラムをセットにした販売を行っている。また、「学ぶ」ことをキーワードに体験プログラムを「すなびミュージアム」としてテーマ性をもって展開する。年間5万人程訪れる砂浜美術館のイベント来場者に対してアプローチすること   |

(別添) 様式 1

|  |
|--|
| で集客につなげる。  |
| ○ターゲット層<br>アートに関心をもつ 20~40 代の女性  |
| ○選定の理由<br>地域の自然や文化を美術館の作品とみたと砂浜美術館の考え方は、黒潮町オリジナルのものであり、その考え方を表現したTシャツアート展をはじめとするイベントは、地域外から人をひきつけるコンテンツとなっている。   |
| ○取組方針<br>各種イベントの参加者や来場者のSNSや口コミを通じて広がっている。これは「砂浜美術館」という考え方への共感を通じた広がりであり、「考え方」を大切にしながら様々な場面でその考え方を伝えることで、参加・来場者を増やしていく。  |
| ○ターゲット層 外国人旅行者   |
| ○選定の理由<br>ホエールウォッチングの外国人旅行者の乗船客が、平成 27 年度 20 人から平成 28 年度 80 人に増加、また、道の駅での問い合わせの増加状況から、今後の新たなターゲットとして設定。  |
| ○取組方針<br>現在高知県の外国人観光客は香港・台湾の割合が多い。ホエールウォッチングの外国人乗船客についても、香港が 55%を占めており黒潮町での集客が可能なターゲットの 1 つと想定している。しかし、インバウンドについては町単体でのプロモーションでは効果が薄く、高知県コンベンション協会や四国ツーリズム創造機構など広域の観光団体が企画する商談会等へ積極的に参加し集客につなげる。 |

(3) コンセプト

|            |  |
|------------|--|
| ①コンセプト     | スポーツ施設を活用したスポーツ合宿・大会の開催、豊かな自然や食の資源を活用したイベント・体験を通じて、地域への滞在者を増やす。また、地域の体験プログラムに関しては、それぞれの資源がどのような歴史文化があるのかを掘り下げ、「地域文化を旅行商品にする」ことをコンセプトとする。黒潮町には長さ 4kmの砂浜を美術館に見立てた砂浜美術館の考え方があり、地域資源を「砂浜美術館の作品」として商品造成を考える。来る人も受け入れる人もみんな笑顔になれる観光地域づくりを目指し、結果、「住んでよかった思える町、また訪れたいと思える町」づくりを行う。 |
| ②コンセプトの考え方 | 飲食店・宿泊施設といった従来の観光関連事業者だけでなく、地域全体の旅行消費額の増大をはかるため、地域にある様々な産業が、それぞれの取組みと「ツーリズム」を関連付け、地域に新しい商品やサービスを産み出す。具体的には、宿泊施設には積極的に地元の食材を活かした食事の提供をしてもらうことや、住民主体の活動である集落活動センターによるお弁当づくり、宿泊先の提供である。   |

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目            | 概要  |
|---------------|---|
| 戦略の多様な関係者との共有 | 黒潮町観光ネットワークにおいて、年間 4 回の役員会の開催、2 回の全体会（うち一回は通常総会）を開催し、地域事業者との情報共有を図っている。また、NPO砂浜美術館、黒潮町観光ネットワーク、黒潮町（行政）の 3 者は日ごろからコミュニケーションを行っており、現在観光振興の柱になっているスポーツツーリズムは、別途年 2~3 回程度関係者と推進会議を開催している。 |

(別添) 様式 1

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築 | 利用客からのアンケート調査を通じて得た情報を、各施設にフィードバックする。また、黒潮町観光ネットワーク会員からの要望に応じた勉強会、研修会の開催によって、サービス維持に努めている。   |
| 一元的な情報発信・プロモーション                     | 道の駅ビオスおおがた情報館、また情報館に事務所をおくNPO砂浜美術館をワンストップ窓口として、地域の観光情報を提供する。スポーツツーリズムはパンフレット、Web ページ(すなびスポーツ： <a href="http://sunabi-sports.com">http://sunabi-sports.com</a> )、映像の共通のプロモーションツールを活用、また体験等については、黒潮町の観光ページ( <a href="http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/kuronavi">http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/kuronavi</a> )に集約し、地域一体となった情報発信を行う。 |

**6. KPI (実績・目標)**

**(1) 必須KPI**

| 指標項目                | 単位 | 27年度<br>実績       | 28年度<br>実績       | 29年度<br>実績      | 30年度<br>目標      | 31年度<br>目標      | 32年度<br>目標      |
|---------------------|----|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ●旅行消費額              | 円  | 調査なし             | 3,340            | 1,423<br>(※1)   | 3,373           | 3,406           | 3,440           |
| ●延べ宿泊者数<br>( )内は外国人 | 泊  | 17,474<br>(調査なし) | 22,342<br>(調査なし) | 22,219<br>(175) | 23,768<br>(183) | 24,798<br>(192) | 25,398<br>(202) |
| ●来訪者満足度<br>(スポーツ)   | %  | 調査なし             | 94               | 99              | 90以上            | 90以上            | 90以上            |
| ●リピーター率<br>(スポーツ)   | %  | 67               | 75               | 63              | 70以上            | 70以上            | 70以上            |

(※1)平成28年度は8~3月にかけて毎月道の駅で調査した結果(計21日・1859件)であったが、平成29年度は予算の関係もあり、平成28年度できなかった3月分のみの調査(計2日・178件)であった。サンプル数の少なさや対象月の関係で減少したと考える。今後は5年に一回程度、平成28年度なみの調査を実施、それ以外は、特定月を調査し、平成28年度の同月調査結果と比較することで、実績値とすることを検討。



※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

旅行消費額については、地元大学機関に協力を得て調査を行う。来訪者満足度とリピーター率は、現在観光振興の柱になっているスポーツツーリズムに焦点をあて数値設定しているが、今後は一般観光についても取り入れることを検討。Webサイトのアクセス数は、黒潮町の窓口になりアクセス数も一番多い黒潮町の観光ページを指標として設定。

**【設定にあたっての考え方】**

●旅行消費額

平成 28 年度に実施した調査（約 2000 サンプル）結果をベースとして、平成 30 年度以降は平成 28 年度ベースで年 1%増を目標として設定。

●延べ宿泊者数

現在減少傾向にある一般観光の宿泊者数を 1%増加に転じ、スポーツツーリズムでの宿泊増加分を上乗せしていく。視察研修・修学旅行による宿泊増を検討していく。

●来訪者満足度

合宿・大会にこられるチーム代表者を対象として、毎年アンケート調査を実施。設問中に「また施設を利用したいか」の項目を設けており、利用したいと回答したチームの割合を目標値として設定。

●リピーター率

現在黒潮町の観光振興の柱になっているスポーツツーリズムに焦点を絞っている。目標としているスポーツツーリズムでの 15,000 泊達成までは、積極的に新規チームも増やし、うち 7 割のリピーターを目指す。

(2) その他の目標

| 指標項目                  | 単位     | 27 年度<br>実績      | 28 年度<br>実績      | 29 年度<br>実績       | 30 年度<br>目標       | 31 年度<br>目標        | 32 年度<br>目標        |
|-----------------------|--------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| ●スポーツツーリズムによる宿泊者数(※1) | 泊      | 5,119<br>(4,204) | 8,541<br>(6,488) | 11,821<br>(8,168) | 13,370<br>(9,717) | 14,400<br>(10,747) | 15,000<br>(11,347) |
| ●自然体験プログラム参加者数        | 人      | 4,649            | 4,702            | 4,413             | 5,450             | 6,010              | 6,570              |
| ●イベント来場者数             | 人      | 44,280           | 42,892           | 49,941            | 50,000            | 50,000             | 50,000             |
| ●Webサイトのアクセス状況        | P<br>V | 調査なし             | 235,704          | 298,933           | 30,4911           | 310,890            | 316,869            |

(※1) カッコ内は黒潮町内宿泊数

## ※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

## 【検討の経緯】

行政と一体になった取組を推進していくため、黒潮町が策定する「黒潮町総合戦略アクションプラン」の計画と整合性をもった設定とする。また、観光入込客数を細分化することにより、より具体的な施策につなげることが必要である。

## 【設定にあたっての考え方】

## ●スポーツツーリズムによる宿泊者数

現在の施設、受入体制を考えると年間 15,000 人泊が上限と考えており、平成 32 年度での達成を目標としている。各年度の設定は、前年実績に新規で呼び込める可能性のある団体の実数を積み上げて設定している。

## ●自然体験参加者数

現在、体験プログラムの柱となる、ホエールウォッチングとカツオのたたきづくり体験を中心にアクションプランをたてている。体験プログラム全体への波及を含め数値設定し、その増加分を加算している。

## ●イベント来場者数

現状の体制、予算規模では 50,000 人の達成と、その後も維持することを目標とし、この 50,000 人の旅行消費額を増加させるしかけを考える。

●Web サイト(黒潮町観光ページ・<http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/kuronavi>)のアクセス状況

ページビュー数の増加が黒潮町への観光入込数に反映すると仮定し設定。平成 29 度を基準として 5 年間(平成 34 年度まで)で 10%増。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

## (1) 収入

| 年度               | 総収入(円)          | 内訳  |
|------------------|-----------------|---|
| 平成 28 年度<br>(実績) | 208,339<br>(千円) | (内訳の区分例)<br>【高知県・委託金】56,376 千円 【黒潮町・委託金】47,790 千円 【その他の委託業務】7,097 千円 【旅行業】55,607 千円 【事業収入】35,909 千円 【イベント協力金・寄付金等】5,170 千円 【その他の収入】390 千円 |
| 平成 29 年度<br>(実績) | 203,787<br>(千円) | (内訳の区分例)<br>【高知県・委託金】55,178 千円 【黒潮町・委託金】41,358 千円 【その他の委託業務】4,617 千円 【旅行業】63,396 千円 【事業収入】33,708 千円 【イベント協力金・寄付金等】5,329 千円 【その他の収入】201 千円 |
| 平成 30 年度         | 186,302<br>(千円) | (内訳の区分例)<br>【高知県・委託金】55,414 千円 【黒潮町・委託金】36,022 千円 【その他の委託業務】4,100 千円 【旅行業】57,150 千円 【事業収入】28,716 千円 【イベント協力金・寄付金等】4,800 千円 【その他の収入】100 千円 |
| 平成 31 年度         | 190,802<br>(千円) | (内訳の区分例)<br>【高知県・委託金】55,414 千円 【黒潮町・委託金】36,022 千円 【その他の委託業務】4,100 千円 【旅行業】61,550 千円 【事業収入】28,816 千円 【イベント協力金・寄付金等】4,800 千円 【その他の収入】100 千円 |
| 平成 32 年度         | 193,488<br>(千円) | (内訳の区分例)<br>【高知県・委託金】55,414 千円 【黒潮町・委託金】36,022 千円 【その他の委託業務】4,100 千円 【旅行業】64,136 千円 【事業収入】28,916 千円 【イベント協力金・寄付金等】4,800 千円 【その他の収入】100 千円 |

## (2) 支出

| 年度               | 総支出          | 内訳  |
|------------------|--------------|---|
| 平成 28 年度<br>(実績) | 201,959 (千円) | (内訳の区分例)<br>【一般管理費】66,374 千円 【誘致活動・販促ツール作成(スポーツ・一般)】7,699 千円【旅行代金支払】50,080 円 【イベントの開催日】13,029 千円 【公園施設管理費】52,745 千円 【番組制作費】2,692 千円 【商品 |

(別添) 様式 1

|                |             |  |
|----------------|-------------|--|
|                |             | 仕入】4,559千円 【その他事業費】4,781千円   |
| 平成29年度<br>(実績) | 197,450(千円) | (内訳の区分例)<br>【一般管理費】62,141千円 【誘致活動・販促ツール作成(スポーツ・一般)】5,141千円 【旅行代金支払】55,911円 【イベントの開催日】10,879千円 【公園施設管理費】49,536千円 【番組制作費】4,979千円 【商品仕入】4,606千円 【その他事業費】4,257千円 |
| 平成30年度         | 186,302(千円) | (内訳の区分例)<br>【一般管理費】63,954千円 【誘致活動・販促ツール作成(スポーツ・一般)】4,101千円 【旅行代金支払】52,006円 【イベントの開催日】9,510千円 【公園施設管理費】49,536千円 【番組制作費】1,400千円 【商品仕入】2,475千円 【その他事業費】3,320千円  |
| 平成31年度         | 190,306(千円) | (内訳の区分例)<br>【一般管理費】63,954千円 【誘致活動・販促ツール作成(スポーツ・一般)】4,101千円 【旅行代金支払】56,010円 【イベントの開催日】9,510千円 【公園施設管理費】49,536千円 【番組制作費】1,400千円 【商品仕入】4,559千円 【その他事業費】4,781千円  |
| 平成32年度         | 192,659(千円) | (内訳の区分例)<br>【一般管理費】66,374千円 【誘致活動・販促ツール作成(スポーツ・一般)】7,699千円 【旅行代金支払】50,080円 【イベントの開催日】13,029千円 【公園施設管理費】52,745千円 【番組制作費】2,692千円 【商品仕入】4,559千円 【その他事業費】4,781千円 |

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・観光調査、設計、戦略策定、プロモーション等について行政からの委託事業の確保
- ・現在実施しているスポーツツーリズムによる宿泊手配業務の取扱の増加
- ・体験プログラムを軸とし新たな旅行商品の企画造成や販売による自主財源の確保
- ・今後の財源の候補として、特別税の導入の検討

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

高知県黒潮町は、町の観光振興をNPO砂浜美術館、黒潮町観光ネットワークと連携して進めており、NPO砂浜美術館を黒潮町におけるDMOとして登録したいので、NPO砂浜美術館とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 担当者氏名     | 村上健太郎               |
| 担当部署名(役職) | 理事長                 |
| 所在地       | 高知県幡多郡黒潮町浮鞭 3573-5  |
| 電話番号(直通)  | 0880-43-4915        |
| FAX番号     | 0880-43-1527        |
| E-mail    | murakami@sunabi.com |

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 都道府県・市町村名 | 黒潮町                 |
| 担当者氏名     | 岡本浩                 |
| 担当部署名(役職) | 産業推進室 室長補佐          |
| 所在地       | 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 番地 |

(別添) 様式 1

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 電話番号 (直通) | 0880-43-2113                        |
| FAX 番号    | 0880-43-2788                        |
| E-mail    | okamoto.hiroshi@town.kuroshio.lg.jp |

【区域】黒潮町、幡多地域

(表:実施体制)

(表:KPI(実績・目標))※( )内は外国人に関するもの

【設立時期】平成15年9月4日

【代表者】村上健太郎

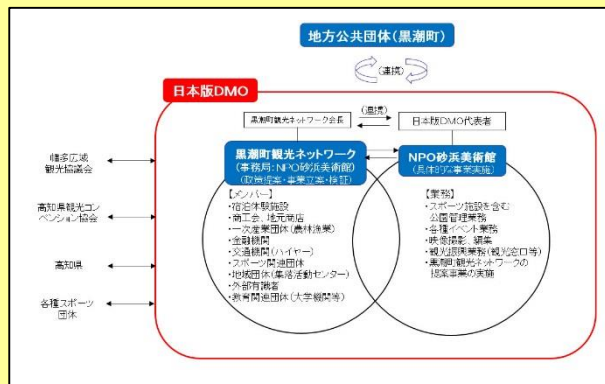
【マーケティング責任者】的場尚雅

【職員数】18人

【連携する主な事業者】

黒潮町観光ネットワーク

幡多広域観光協議会、高知県観光コンベンション協会



|            | 27年(度)・実績     | 28年(度)・実績     | 29年(度)・実績    | 30年(度)       | 31年(度)       |
|------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 旅行消費額(円/人) | 調査なし          | 3,340         | 1,423        | 3,373        | 3,406        |
| 延べ宿泊者数(泊)  | 17,474 (調査なし) | 22,342 (調査なし) | 22,219 (175) | 23,768 (183) | 24,798 (192) |
| 来訪者満足度(%)  | 現在調査無し        | 94            | 99           | 90以上         | 90以上         |
| リピーター率(%)  | 67            | 75            | 63           | 70以上         | 70以上         |

### スポーツツーリズムに関する取組

サッカーを中心としたスポーツツーリズムの推進。ラクロス、バレーボール、陸上(駅伝)といった他種目についても、今後誘客を強化。主に小学生～大学生のチームをターゲットとする。

- ①H29年度の人工芝2面施行によって、既存の天然芝2面と合わせた計4面という環境を強みとする。
- ②開放的な自然環境や太平洋を望む砂浜トレーニングの活用、豊かな食資源など、町をあげてのおもてなしの体制を確立。



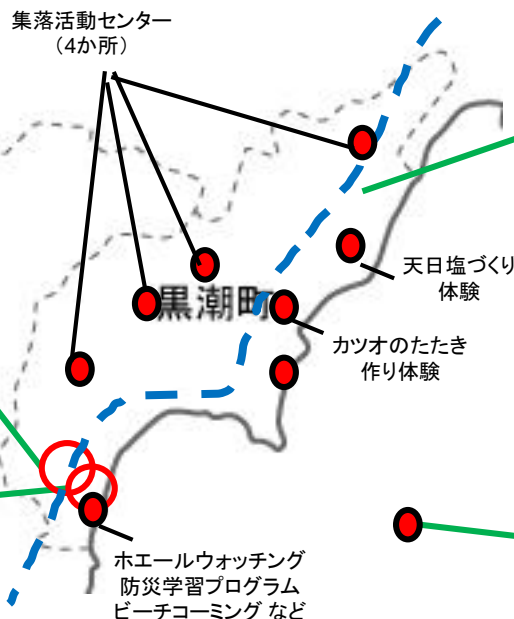
- ・平成32年度までに町内宿泊15,000泊の達成
- ・お弁当や集落活動センターなど地域内事業者との連携強化、地域内資金循環の向上

### アートに関心を持つ若い女性に関する取組

「砂浜美術館」という黒潮町オリジナルの考え方を形にした、Tシャツアート展などのイベント来場者に対し、他の時期にもまた黒潮町をおとずれてもらうための取組みの開発。



- ・Tシャツアート展来場者約30,000人をターゲットとし、約1割にたいして、再度黒潮町を訪れるイベントの確立。
- ・砂像や漂流物など活用し、通年での展示物づくり



### お遍路に関する取組

札所のない黒潮町であるが、札所間がもっとも離れたルートの中に位置しており、一泊する可能性が高いエリアになっている。前の札所(岩本寺)へのパンフレットの設置や、遍路向け雑誌への情報提供によって、宿泊者を増やす。



- ・年間約2,000人の歩き遍路の宿泊客をH32までに2,200人に増加

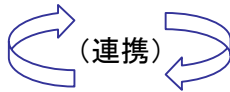
### 体験に関する取組

自然の恵みを活かした、ホエールウォッチングやカツオのたたき作り体験、天日塩づくり体験や、津波高日本一の想定を逆手にとり、自分の命を守る学習である防災学習プログラムを磨き上げ、教育旅行や研修旅行のプログラムとして、提供していく。



- ・体験者数を平成32年までに6,570人の達成。
- ・ホエールウォッチングの乗船者2,000人の達成。

# 地方公共団体(黒潮町)



## 日本版DMO

黒潮町観光ネットワーク会長

(連携)

日本版DMO代表者

**黒潮町観光ネットワーク**  
(事務局:NPO砂浜美術館)  
(政策提案・事業立案・検証)

**NPO砂浜美術館**  
(具体的な事業実施)

- 【メンバー】
- ・宿泊体験施設
  - ・商工会、地元商店
  - ・一次産業団体(農林漁業)
  - ・金融機関
  - ・交通機関(ハイヤー)
  - ・スポーツ関連団体
  - ・地域団体(集落活動センター)
  - ・外部有識者
  - ・教育関連団体(大学機関等)

- 【業務】
- ・スポーツ施設を含む公園管理業務
  - ・各種イベント業務
  - ・映像撮影、編集
  - ・観光振興業務(観光窓口等)
  - ・黒潮町観光ネットワークの提案事業の実施

幡多広域観光協議会

高知県観光コンベンション協会

高知県

各種スポーツ団体

